

周南市中心商店街

(株式会社まちあい徳山)

山口県周南市

！取組のポイント

空き店舗への出店サポートを行い、3年で28店舗の新規出店が実現。
新たなコミュニティの形成へ。

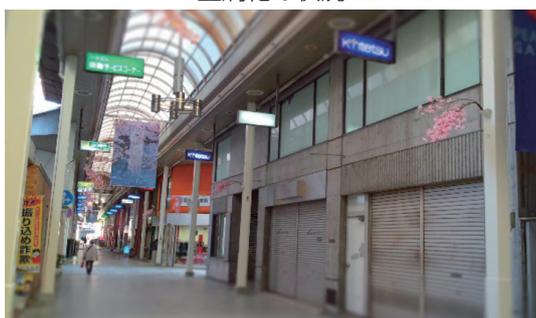
取組の背景

商店街から相次いで大型商業施設が撤退

JR徳山駅東側には6つの商店街があるが、いずれも高齢の店主が多く、後継者の不在などにより、店舗経営の将来像を描けない店舗が増えている。そのことが店舗改装などの新たな投資ができない要因ともなっており、商業空間として来街者のニーズに対応することができていなかった。

近年、周南市近隣には売場面積1万㎡以上の大型商業施設7店舗が立地する一方、中心商店街からは、大型商業施設が相次いで撤退していった。山口県東部唯一の百貨店が2013年2月に閉店したことで、商店街の集客の中核施設を失うこととなり、中心市街地の商業機能に深刻な影響を及ぼしている。

空洞化の状況



取組の内容

若い世代が出店し新たなコミュニティを形成

周南市は2013年度から中心市街地活性化基本計画に基づく取組を進めており、商業の活性化については、株式会社まちあい徳山が6つの商店街を総括する形で空き店舗への出店をサポートした。これにより、新規出店する若い世代が増え、新陳代謝が図られるとともに新たなコミュニティが形成され始めている。

新規出店者への支援証明書授与式の様子



また、市民ニーズが高いにもかかわらず商店街になかったカフェやライフスタイルショップを若手経営者と株式会社まちあい徳山が共同で出店するなど、まちの新しい価値創造に貢献している。その他、空きビルをリノベーションしてコミュニティスペースやトイレを整備するなど、商店街全体の活性化に取り組んでいる。

取組の成果

幅広い年代の客層が市外から来店

商店街に出店したカフェやライフスタイルショップは、女性を中心に幅広い年代の客層を集客しており、休日には市外からの来店も多い。

2015年7月にオープンしたライフスタイルショップ



また、リノベーションしたビルには、店舗や県内外からオフィスが順次入居しているほか、コワーキングスペースやコミュニティスペースの利用も順調に増えている。

これらの施設には、百貨店の閉店後、商店街内に不足していた清潔なトイレ、授乳室・おむつ替えシートも設置し、利用客も多い。トイレマップ製作・配布など、街なかの回遊性強化に向け様々なソフト事業も実施しており、来街者の新陳代謝も進んでいる。

実施体制

株式会社まちあい徳山は、商店街の若手店主などを中心に組織されており、商店街で実施されるイベントなどにおいて商店街青年部をサポートしている。また、商店街の魅力を発見してもらうため、商店街を歩きながら店舗を紹介するイベントも開催している。

周南市は、株式会社まちあい徳山に出資(10万円、資本金総額の7.69%)するとともに、緊急雇用創出事業を活用した業務委託などにより、人件費や事業費を支援している。また、空き店舗への出店を促進するためのまちなか出店サポートセンターの運営費の補助、活性化イベントへの助成などの支援を行っている。

空き店舗への出店に向けた取組を進める



キーパーソンからのコメント

株式会社まちあい徳山
代表取締役 河村 啓太郎



高いポテンシャルを次の世代につなぐ

優れた都市計画のもとに発展してきた周南市中心市街地は、戦後70年を迎え、まさに今、更新期を迎えようとしています。弊社の企業理念は「人を、街をその気にさせる」であり、中心市街地の持つ可能性を周知し、活性化の新しいプレーヤーを街に呼び込むことに設立以来注力してきました。

おかげさまでこれまでの3年間で28店舗の出店をサポートすることができ、少しずつ活性化の次の担い手が集積しつつある状況です。少子高齢化社会の中で中心市街地が担うべき役割は「スモールビジネス創業の場」と捉え、他の地域にない高い可能性を持っていることを内外にPRしています。

「人間力のあるまち」へ

2018年に開業予定の「新しい徳山駅ビル」は、たくさんの来街者だけでなく、ビジネスチャンスを見出す新しいプレーヤーを呼び込むきっかけになると思います。あと約2年と短い期間ではありますが、駅ビルと街を有機的に結び、人の流れを創り出していきたいと考えています。そのためには人柄・能力・先見性に優れた人材の活躍が最も重要なファクターだと思いますので、街を想い、街を愛する人の輪を広げていくことにより一層力を入れていきたいと思っています。

基本データ

所在地	山口県周南市みなみ銀座
人口	約15万人(周南市)
電話/FAX	0834-33-9612/0834-33-9613
関連URL	http://www.hp.machiai-tokuyama.com
会員数	177名
店舗数	334店舗(買回り品小売店92、最寄品小売店34、飲食店94、サービス店43、その他71)
商店街の類型	広域型商店街
主な客層	主婦、会社員、高齢者

商店街概要

周南市は、海軍燃料廠の跡地に石油化学コンビナートが形成された重化学工業のまちとして発展し、JR徳山駅東側の6つの中心商店街(徳山みなみ銀座商店街、徳山銀座商店街、中央街、銀南街商店街、徳山糎町通商店街及びPH通り)は、かつては山口県東部を代表する商業地として栄えた。

近年、店舗の閉店が相次ぎ、2013年2月に山口県東部唯一の百貨店が閉店したことにより、かつての商店街の賑わいは失われている。そのような中、株式会社まちあい徳山は、「若い人たちがまちづくりを進めてほしい」との徳山商工会議所の意向を受け2010年に設立された第三セクターである。